

特殊詐欺に引き続きご用心

特殊詐欺について、これまでも地域安全ニュースにより皆様に注意喚起をしていますが、全国的に被害は減っていない状況です。特に特殊詐欺のきっかけは電話連絡が多数を占めています。今回は、最近報告のあった特殊詐欺の例を記載しますので、被害に遭わないようお役立てください。

① 警察官を装った電話詐欺（被害額 約300万円）

30代男性の携帯電話に警察官を名乗る男から「特殊詐欺の犯人グループが捕まり、そのグループがあなたの銀行口座を持っていて、被害者から金が振り込まれている。保釈金を払わなければ逮捕の恐れがある」と告げられたため、2回にわたり指定された口座へ振り込んでしまった。

② キャッシュカード持ち去り詐欺（被害額 約250万円）

50代女性の自宅に警察官を名乗る男から「あなたの口座が犯罪に使われている」と電話が掛かってきた。後日、電話を掛けた警察官を名乗る男が自宅にやって来て「キャッシュカードと暗証番号を記入した紙を封筒に入れて封印する」「封印する印鑑が必要」と告げられる。指示に従いキャッシュカードと暗証番号を記入した紙を渡して封筒に入れた後、家の中に印鑑を取りに行った隙に別の封筒とすり替えられて持ち去られ、そのまま現金を引き出されてしまった。

③ 有料サイトの未納を語った詐欺（被害額 約1億5,000万円）

70代女性の携帯電話に着信があり「あなたの電話が1時間後に使えなくなります」と音声ガイダンスが流れた。驚いてガイダンスに従い操作すると、大手ファイナンス会社をかたる男に電話がつながり「サイトの未納料金がある。保証金30万円を支払えば誤操作として無関係になる。5%は手数料として引かれるが残りは返金される」と言われたため30万円を振り込んだ。その後、警察官や行政職員などを名乗る男から裁判を止める費用や弁護士料などを請求する電話が相次ぎ、ATMとネットバンキングで35回にわたり約1億5千万円を振り込んでしまった。

▶ 町内でも同様の電話着信が多数報告されています

● 電話の内容が以下の項目に当てはまったら特殊詐欺を疑いましょう

- ・ 着信番号が「+」で始まる国際電話から掛かってきた。 ・ 会社のお金（書類）の入ったカバンを無くした。
- ・ 会社のお金を使い込んで、株で失敗した。 ・ 警察官（弁護士）がお金（キャッシュカード）を受け取りに行く。
- ・ あなたの口座が詐欺に悪用されている。 ・ 今すぐ保釈金を振り込む必要がある。
- ・ レターパック（宅配便）でお金を送ってほしい。
- ・ 安全だから名義を貸してほしい。
- ・ ギフトカードをコンビニで購入して番号の写真を送ってほしい。
- ・ 詳しくやり取りをしたいのでLINEのビデオ通話に切り替えてほしい。



不審者や不審車両を見かけたら

警察署・最寄りの駐在または役場総務課までご連絡を！

苫小牧警察署 ☎ 0144 35 0110

追分駐在所 ☎ 25 2003

安平駐在所 ☎ 23 2339

早来駐在所 ☎ 22 2030

遠浅駐在所 ☎ 22 2211

役場総務課 ☎ 22 2511